



おおにしだより

第28号

平成25年10月15日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

魅せた 西小魂、「チームおおにし」の底力！！



心を一つに「大玉送り」



見事な「応援合戦」



なかよし玉入れ

誰もが待ちに待った運動会。『優勝めざして一致団結 西小魂ふりしほれ』というテーマのもと、素晴らしい運動会が実施できました。

今年の運動会は、子どもたち一人一人が、それぞれの目標に向かって、本当に頑張りました。全員が、練習の成果を十分に發揮し、力一杯の演技をしてくれました。また、応援団の素晴らしいリーダーシップのもと、全児童が熱く燃え元気な応援が校庭に響き渡りました。“おおにしへ”一人一人がキラキラと輝き、終日、“チームおおにし”的底力を十分に發揮してくれました。

得点争いもありました。午前の部終了時には赤組がリードしていましたが、午後の部は一進一退の展開となりました。

最終成績発表で、「赤組961点、白組970点、優勝は白組です。」とアナウンスされると、会場からは大きな歓声が起こりました。昨年は11点差という接戦で白組が優勝しましたが、今年はわずか9点差と、運動会史上稀に見る大接戦となりました。

最後まで諦めずに力一杯競技した子どもたち。一つの事を精一杯やり遂げたことは、子どもたち一人一人にとって大きな自信につながったことだと思います。

保護者の皆様や地域の皆様、さらに、ご来賓の皆様には、最後まで温かいご声援をいただきまして、ありがとうございました。また、ゴミの持ち帰り・自転車や歩行での来校・地域の広場への駐車・学校敷地内禁煙等にもご協力をいただき、感謝申し上げます。特に、駐車場に関してはご不便をおかけしましたが、大きな混乱もありませんでした。なお、「子どもを守る会」の皆様方には、校門付近の車の誘導や安全面のご指導をいただくなど、側面から学校を支えてくださいました。合わせて御礼申し上げます。

さらに、PTA役員の皆様には、終日、熱心に各係の仕事に取り組んでいただきました。前日の準備の時にもお世話になりましたが、運動会当日には、テント・入退場門・万国旗等を率先して片付けてくださいました。また、役員以外の保護者の方も率先して後片付けに加わってくださいました。このように素晴らしい方が“チームおおにし”的底力を十分に發揮してくれました。運動会が大成功裏に終了できたのだと思います。ありがとうございました。

感動の夢舞台！！

“大平地区学校合同音楽祭”で最高レベルの演奏を披露

9月20日（金）、大平文化会館を会場に大平地区小中学校、栃木翔南高等学校が一堂に会して「大平地区学校合同音楽祭」が行われました。本校からは、6年生全児童とミュージック部の児童が学校代表として参加しました。



6年生の演奏

時期的に運動会と重なったため、運動会準備や練習と平行しての練習は、なかなか厳しいものがあったと思いますが、本校6年生全員による合奏「Happiness」は、息の合った大変立派な演奏でした。ミュージック部の児童は、暑い夏休みの間も意欲的に練習に参加してきました。本校6年生同様、本番では練習の成果を十分に發揮し、合奏「剣の舞」を見事に披露してくれました。いずれも大変レベルの高い演奏で、聴く人たちに大きな感動を与えてくれました。なお、会場に駆けつけて、終始熱い声援をお送り続けてくださった保護者をはじめ関係の方々には大変お世話になりました。

栃木市防災訓練：本校を会場に実施

9月22日（日）に、「栃木市防災訓練」が、本校を会場に実施されました。地域の方に交じって本校の児童も多数参加し、起震車体験、煙体験、避難誘導訓練、避難所設置訓練、炊き出し・給水訓練などの貴重な体験をしました。

東日本大震災以来、地域と学校が一体となった防災の必要性が叫ばれており、地域の皆様と児童・教職員が一緒にこのような訓練を行えたことは、大変意義深いことと感じております。防災訓練を運営くださった皆様に、心より感謝申し上げます。



鈴木市長あいさつ



防災ヘリ空中消火訓練



心肺蘇生法体験



炊き出し訓練



起震車体験



初期消火訓練（消火器）



避難誘導訓練



出動・消火訓練



初期消火訓練（バケツリレー）

これらの他にも、倒壊家屋からの救出・救助訓練、応急救護体験、情報収集・伝達訓練（通信訓練）など、多くの訓練・体験が行われました。また、「東日本大震災活動写真パネル展示」もあり、被災地の惨状を見た参加者にとっては、まさに「心に響く防災学習」となりました。

学校における防災活動は・・・

学校における防災活動は、児童の防災対応能力の向上を目指す「防災教育」、児童の安全確保に向けた体制の充実を目指す「防災管理」、これらを推進する体制を整備する「組織的活動」の3つの要素があります。防災活動を進めていくためには、この3つの要素を教育的活動の中に、具体的に位置づけることが大切です。

また、教職員の防災教育に対する指導力や、災害時における災害対応能力を高める等、その資質向上を図ることも大切なことです。さらに、校内の協力体制を整備し、教職員の共通理解と研修を行うと共に、家庭や地域の関係機関・団体等及び学校相互の連携を図り、地域ぐるみで児童を災害から守る環境を整えていく必要があります。



今回の栃木市防災訓練では、本校の全教職員が参加し、地域や関係機関の皆様との連携強化の重要性を学ばせていただきました。今まででは、学校独自の訓練にとどまり、大規模な災害発生時における実践的かつ具体的な訓練を行うことができませんでした。このような訓練によって、教職員の防災意識高揚や災害対応能力の向上、関係機関相互の連携強化の必要性等を実感することができたと確信しております。お世話になりました。